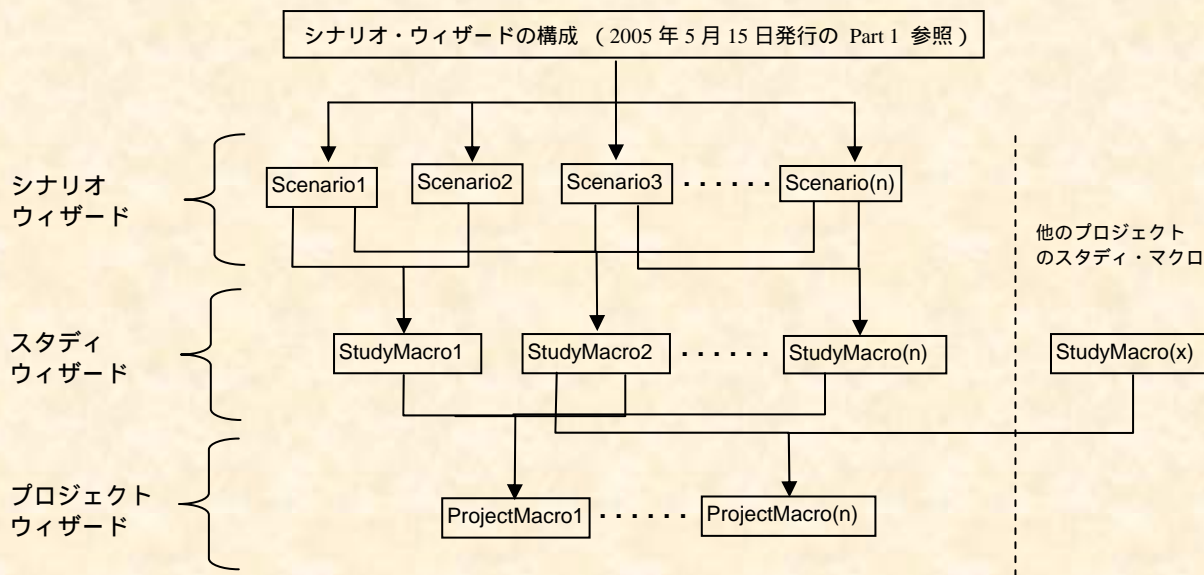


ETAP Technical Report - No. 022

Etap 5.0 ウィザード (シナリオ、スタディ、プロジェクト) Part 3




ETAP ウィザード ダイアグラム

III. プロジェクト・ウィザードの使用方法

上記の「ETAP ウィザード ダイアグラム」のように、既にスタディマクロが設定されていれば (Part 2 - Technical Report No. 21 参照)、幾つものスタディマクロをプロジェクトマクロで設定した順序に従って実行するための「プロジェクト・ウィザード」を使用することができます。

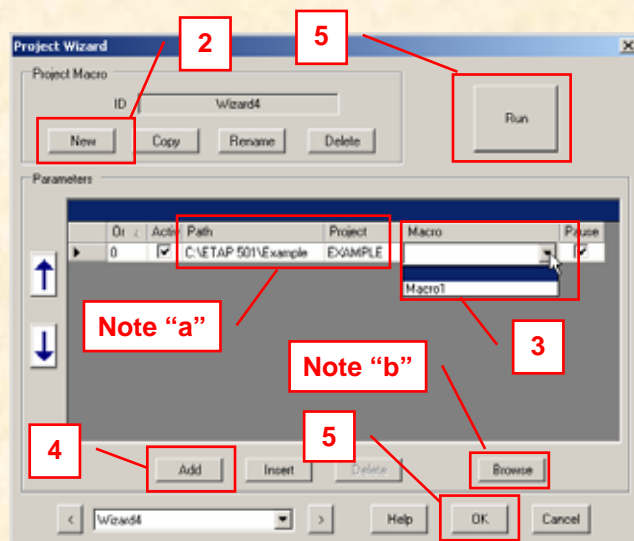
プロジェクトマクロを実行すると、関連するシナリオを含む全てのスタディマクロを、プロジェクトマクロで決めた順序で実行し、アプトプット・レポートを作成・上書きします。

A. プロジェクトマクロの作成:

- 1) プロジェクト・ウィザード アイコン  をクリックする。プロジェクト・ウィザード エディタが開きます。
- 2) “New” ボタンをクリックする。ETAP により自動的にプロジェクトマクロの ID が割付けられます (例 Wizard1)。ID を変更する場合は “Rename” ボタンをクリックします。
- 3) “Macro” ボックスをクリックして最初に実行したいスタディマクロを選択します。

Notes:

- a) “Path” および “Project” の列に、選択したスタディマクロを呼び出すためのパスおよびプロジェクト名を入力します。デフォルトとし



て、今現在開いているプロジェクトのパスとプロジェクト名が表示されます。

- b) 別の Project で設定したスタディマクロを呼び出したい場合は、右下の“Browse” ボタンをクリックして、その ETAP プロジェクト・フォルダにできている ファイル名 “xxxx.macros.xml” (“xxxx” はプロジェクト名) という xml file を選択し “Open” をクリックします。そして “Macro” ボックスから該当する マクロ ID を選択します。
- 4) “Add” ボタンをクリックして、別のスタディマクロを追加し、上記の手順 3) を繰り返します。
- 5) “Run” ボタンをクリックして、いま設定したプロジェクト・ウィザードを実行します。あるいは “OK” ボタンをクリックして保存しプロジェクトマクロを閉じます。

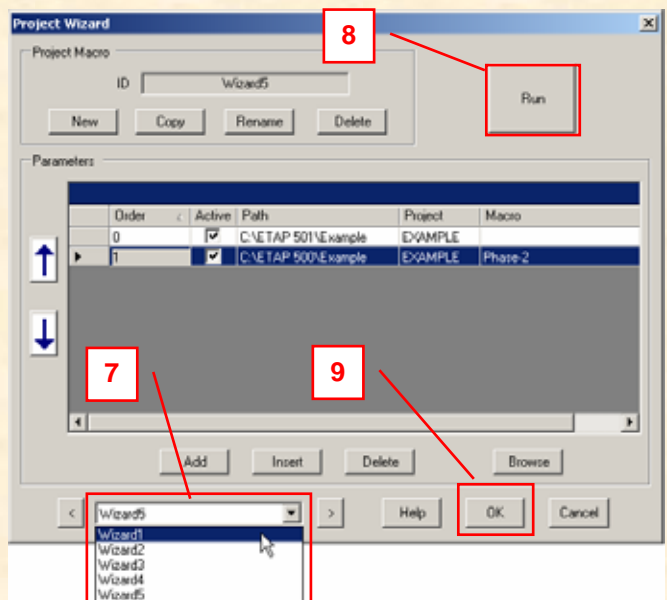
B. プロジェクトマクロの実行:

- 6) プロジェクト・ウィザード アイコン



をクリックする。プロジェクト・ウィザード エディタが開きます。

- 7) 下部のプルダウンリストから、実行したいプロジェクトマクロ ID を選択します。
- 8) “Run” ボタンをクリックします。
- 9) “OK” ボタンをクリックして、プロジェクト・ウィザードを閉じ、解析結果にアクセスします。



C. スタディマクロのコピー、名称変更、削除:

- 10) プロジェクト・ウィザード アイコン



をクリックする。プロジェクト・ウィザード エディタが開きます。

- 11) 下部のプルダウンリストから、コピー、名称変更または削除したいプロジェクトマクロ ID を選択する。
- 12) “Copy”, “Rename” または “Delete” ボタンをクリックする。
- 13) “OK” ボタンをクリックしてプロジェクト・ウィザードを閉じる。

